



平成18年2月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成17年7月4日

上場会社名 株式会社フジ (コード番号：8278 東証第一部、大証第一部)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 時任紀邦
 問合せ先責任者 役職名 取締役総合企画部長
 氏名 内島朝良 TEL (089) 922 - 8112

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成18年2月期第1四半期業績の概況（平成17年3月1日～平成17年5月31日）

(1) 営業収益 (記載金額は百万円未満切り捨て表示)

	営業収益	
	百万円	%
18年2月期第1四半期	79,139	3.3
17年2月期第1四半期	76,541	
(参考)17年2月期	309,997	

(注)パーセント表示は、対前期増減率

[営業収益に関する補足説明]

当第一四半期におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にあるとされ、雇用状況の改善など、好材料も出てまいりましたが、個人消費につきましては、継続するデフレ、生活者の将来不安心理や競争環境の激化と相まって、依然厳しい状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、中四国流通ネットワーク構想のもと、より一層のドミナント化を図り、地域ニーズに合ったSCの開発と商品を提供するため、NSCとして4月にパルティ・フジ志度（香川県）、5月にパルティ・フジ東予（愛媛県）、またCSCとして4月にフジグラン神辺（広島県）を新規出店いたしました。

これらの結果、第1四半期の連結営業収益は、791億39百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

確定給付型の企業年金制度（基金型）及び退職一時金制度を設けておりましたが、平成17年3月1日を施行日として退職一時金制度（一部除く）を確定拠出年金制度に移行しました。

[参考]

平成18年2月期の連結業績予想（平成17年3月1日～平成18年2月28日）

	営業収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	166,000	1,500	800
通期	336,000	5,000	2,500

(参考)1株当たり予想当期純利益（通期） 72円36銭

[業績予想について]

業績予想（平成17年4月18日発表）に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上